

## 平安神宮

大西美衣

(2020 年度入学 4 期生)

私の好きな京都は平安神宮である。平安神宮は京都市左京区にある京都を代表する観光名所であり、平安京大内裏の正庁を模した応天門、大極殿など朱塗りの社殿が美しいみやびな場所である。なぜ私が平安神宮を紹介したいかというと、大学に進学し京都に住み観光地をたくさん巡った中で、平安神宮が魅力を感じたからだ。これから私が思う平安神宮について紹介する。

初めに平安神宮の魅力は歴史や建物の美しさにあると考える。平安遷都 1100 年を記念して、1895 年（明治 28 年）に桓武天皇をご祭神として創建された神宮である。歴史的建造物かと言われると、他の寺社仏閣と比較して歴史は浅いが平安神宮の建設に至った経緯がとても魅力的だと思う。幕末の戦乱で荒廃した京都再興を願った京都の人々によって建てられた。これは当時の京都の人々にとって心の拠り所のような存在であったといえる。京都に住む人々の願いで建設された平安神宮の存在価値は古い歴史などでは言い表せない。なぜ、ご祭神が桓武天皇なのか。桓武天皇は平安遷都を行った天皇で、「おや神様」として親しまれているからだ。また平安神宮のホームページによると、在位中は難民の救済や学問の奨励を進めたとされ、復興を願う京都の人々にとって親しみ深い人だった。その後、1940 年（昭和 15 年）には明治維新の基盤を築いた孝明天皇も祭神としてまつられることになった。



建物も魅力的である。平安神宮の玄関である應天門をくぐると見える大きな建物が大極殿である。大極殿は、平安京の大内裏の正庁「朝堂院」を 8 分の 5 サイズに縮小して再現したつくりになっている。これは平安時代のみやびやかな京都を今に伝えてくれる。大極殿は平安期において天皇の即位や、新年の朝賀など、国の主要な儀式が行われる建物である。平安神宮の建物は国の重要文化財に指定されている。このように京都に住む人々の願いで建てられた平安神宮に、他の由緒ある寺社仏閣と並び称されていることにとても魅力を感じる。

次に平安神宮の神苑が魅力的だと考える。神苑は明治時代の代表的な日本庭園である。そのつくりは社殿を囲むように「東・中・西・南」の四つの庭から構成されている。総面積は約 33,000 平方メートル（約 10,000 坪）の広大な池泉回遊式庭園で、明治の有名な造園家 7 代目小川治兵衛らによってつくられた。回遊式庭園とは日本独自の庭園の一つであり特徴は、広大な面積を持ち園内を一周しながら地形に応じる景観を鑑賞できる作りになっていることである。神苑は平安京千年の造園技法の粋を結集した庭園として、昭和 50 年 12 月に国の名勝に指定されている。名勝とは文化財保護法で、庭園、その他

名勝地で我が国にとって芸術上または鑑賞上価値の高いもののうち、重要なものとされている。すぐれた国土美のありさまを様々な形で表現する名勝は、風致景観の鑑賞を通じて価値を発揮する記念物である。その文化財である名勝を国または地方公共団体が指定している。京都府にある名勝は平安神宮の神苑のほかに、京都市北区にある大徳寺の大仙院書院庭園や、左京区にある南禅院などがある。平安神宮神苑の魅力としてあげられるのは四季折々の風景を楽しむことができる点である。春の紅しだれ桜、初夏の杜若・花菖蒲、秋の紅葉、冬の雪景色といった四季によって姿を変える自然の風景を楽しむことが出来る。特に春は文豪の谷崎潤一郎の『細雪』にも登場する紅しだれが美しく咲き誇る。神苑に足を踏み入ると、天蓋のように空を覆う桜に圧倒される。東神苑の栖鳳池水面に浮かぶ景色もとても美しい。もう一つ好きなのは色とりど



りの秋の紅葉である。広大な神苑のいたるところにモミジが見られる。特に東神苑では、その多くは桜の紅葉が美しい。春の桜シーズンのはなやかさから一転し、趣のある落ち着いた秋景色が広がる。そして、泰平閣の対岸では水面に映り秋色に染まった木々があり、水面と紅葉の2度楽しめる。京都の庭園の特徴は、赤だけでなく、さまざまな色が見られるように、木々を考えて配置している。神苑の木々の配置も、自然の山の姿を表現したといわれている。

これまで大きく分けて二つの点から平安神宮について紹介してきた。しかし平安神宮の歴史や神苑のほかに京の三大祭りの時代祭が魅力的である。私自身は時代祭を見たことはないが、今年は時代祭が開催されるとのことなので、ぜひ行ってみたいと思った。時代祭に行くことで、本やインターネットだけでは味わえない平安神宮の魅力を感じるのではないかと思う。また、魅力的だと感じていた平安神宮について詳しく調べる中で、歴史のある建物の造形の美しさや神苑の四季折々の景色など、今までは感じていなかった魅力を感じる事が出来た。今回得た知識をいかして今後、平安神宮に行くときに参考にしたい。

#### 【参考文献】

「平安神宮百年史年表編」平安神宮 1997 年

「平安神宮百年史本文編」平安神宮 1997 年

平安神宮 HP <http://www.heianjingu.or.jp/shrine/garden.html>

文化庁 HP <https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index>